

令和6年度 公共事業再評価調書

(区分) **国補** ・ 県単

1. 事業説明シート

事業名	中山間地域整備事業 [中山間地域総合整備事業(国補)]		事業箇所	西八代郡 市川三郷町	地区名	市川三郷	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画					
	H26~R2	H26~R6	H26~R10					
総事業費	2,800 百万円	3,518 百万円	3,485 百万円					

(1) 事業の概要

①事業目的及び効果

本地区は、甲府盆地南西に位置する中山間地で、水稻や果樹を中心に栽培する農業地域である。近年では甘々娘(スイートコーン)や大塚にんじんなどの地域特産物の栽培を促進するなど地域活力の向上を図っているが、農業者の高齢化や担い手不足に加え、野生鳥獣被害の増加など、地域農業が抱える課題は多い。

一方、町では「みたまの湯」や「つむぎの湯」に併設された農産物直売所を核とした地域農業振興策を計画している。また、中部横断道の全面開通を視野に入れた都市交流の促進や農業生産法人の誘致等新たな地域農業の振興も期待されている。こうした状況を背景に農地の集約化や営農条件の改善を図ることにより、新たな担い手確保を促進させ、農業の効率化や生産性の向上を図ると共に、農村生活の安全性や利便性を高め、地域の活性化を推進するものである。

- 主要目標 ○中山間地域等の農村生活・生産機能の向上
・農業所得増加額 1,593千円>1,322千円※ (※評価基準値)
- 副次目標 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上
○農業用排水能力の向上 ○鳥獣被害の軽減
- 副次効果 ○遊休農地の解消 ○農地の保全

②事業概要

	現計画	変更計画		現計画	変更計画
用排水路	L=6,900m	→ L=4,341m	農業集落道	L=410m	→ L=102m
農道	L=5,570m	→ L=3,754m	農業集落排水路	L=360m	→ L=338m
区画整理	A=33.9ha	→ A=25.3ha	農業集落防災安全施設	N=3箇所	→ N=0箇所
鳥獣害防止施設	L=12,800m	→ L=11,404m	交流施設	N=1箇所	→ N=0箇所
			市民農園	N=1箇所	→ N=0箇所

③全体計画

		令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降
現計画	工事内容	用排水路 L=6,050m 農道 L=5,270m 区画整理 A=31.9ha 鳥獣害防止施設 L=12,800m 農業集落道 L=410m 農業集落排水路 L=360m	用排水路 L=850m 農道 L=300m 区画整理 A=2.0ha 農業集落防災安全施設 N=3箇所 交流施設 N=1箇所 市民農園 N=1箇所	-
	事業費	3,166 百万円	352 百万円	-
変更計画	工事内容	用排水路 L=2,799m 農道 L=1,715m 区画整理 A=13.7ha 鳥獣害防止施設 L=4,401m 農業集落道 L=102m 農業集落排水路 L=338m	区画整理 A=2.0ha	用排水路 L=1,542m 農道 L=2,039m 区画整理 A=9.6ha 鳥獣害防止施設 L=7,003m
	事業費	1,840 百万円	286 百万円	1,359 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

④特記事項(関連事業概要等)

・なし

⑤これまでの評価状況(平成25年度事前評価)

本事業は、農業生産基盤・農村生活環境基盤を一体的に整備することで、農業条件や生活環境が改善されるため地域農業の振興には最適な事業であるとともに、地域特産物の生産拡大と農産物販売の向上を図る上で、実施が妥当である。

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

用排水路、農道等の未着手路線については、早期の整備が求められている。

②産業・経済情勢

平成26年度に道の駅富士川が開設され、令和3年度には中部横断自動車道が全線開通し、道の駅には地区内で収穫された農作物やその加工品が取揃えられている。

また、地区内の拠点施設である「みたまの湯（のっぴい農産物直売所）、つむぎの湯」への県内外からのアクセスが向上することでより多くの観光客が訪れることが可能となり、農作物等の販売や農業体験など、地域活性化の取り組みが促進されている。

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・やまなし農業基本計画（令和6年1月策定）

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点	変更計画時点
総事業費		2,800 百万円	3,485 百万円
工 期		H26～R2	H26～R10
評価基準年		H25	R6
経済 効 率 性	費用	3,183 百万円	5,718 百万円
	建設費	3,183 百万円	5,718 百万円
	便益	4,820 百万円	7,026 百万円
	作物生産効果	2,391 百万円	3,723 百万円
	営農経費節減効果	1,057 百万円	1,249 百万円
	走行経費節減効果	835 百万円	1,516 百万円
	その他※	537 百万円	538 百万円
	B/C	1.5	1.2

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、品質向上効果、維持管理費節減効果、一般交通等経費節減効果、耕作放棄地防止効果、災害防止効果、災害時応急対策効果、都市農村交流促進効果

（3）これまでの計画変更等の概要

- ・物価高騰や労務単価の上昇を要因とする事業費の増。

- ・新規参入者を視野に入れたほ場の大区画化に伴う換地計画の調整及び工事に期間を要したため、事業工期を令和6年度までとした。

	当初	→	現計画
総事業費	2,800百万円		3,518百万円
計画期間	4年延長		

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R6年度進捗率(現計画)100.0%→(実績)60.4%→(変更計画)61.0%

②進捗率実績が計画と相違している理由
区画整理において、換地計画に関する地権者との合意形成や整備に伴う関係機関との協議に時間を要している。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
用排水路	147 百万円 減	別事業での整備に移行し、本事業での整備を一部見送ったことによる事業費の減
区画整理	559 百万円 増	地下水位が高く地盤が軟弱のため道路の地盤改良が必要となり、併せて地下水を効率的に排水するための水路網を見直した。国道からほ場への進入を安全かつ容易にするための道路整備をしたこと及び下水道の移設延長増による事業費の増。また、収穫体験園の開設など営農状況の変化に伴い整備を一部見送った事による事業費の減
	112 百万円 減	
農道	148 百万円 減	交流施設の代替に伴い、計画地までのへの農産物の出荷や来訪者のアクセスとして活用を目的とした農道が不要となったことによる事業費の減
農業集落道	103 百万円 減	道路幅に伴い、家屋の撤去等用地買収について地元の同意を得ることが困難となったため、本事業での整備を一部見送ったことによる事業費の減
交流施設 市民農園	82 百万円 減	中部横断自動車道の増穂ICに併設された道の駅において、農産物の販売が促進され、さらにみたまの湯周辺で新たな収穫体験農園等の取り組みにより都市住民との交流が活発化したことから新たな施設整備は不要となった
合計	33 百万円 減	

④事業期間の変更理由及び進捗予定
区画整理について換地計画の検討や地権者との合意形成に時間を要していたこと、整備に伴う協議により進捗が遅れていた。しかしながら、換地計画が確定し地元との調整及び関係機関との協議が整ったことから、残路線についても計画的かつ効率的な実施に努め、工期を4年延長し、令和10年度の完了を目指す。

⑤今後の事業執行における留意点

なし

○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	*R6	R7	R8	R9	R10		
現	計画	1.8	5.4	12.0	25.0	35.0	45.0	55.0	65.0	75.0	90.0	100						
	実績	1.8	4.9	11.8	19.2	29.8	38.6	40.7	43.2	47.6	52.3	60.4						
変更計画												61.0	70.5	80.0	92.3	100		

*事業着手年度又は評価年度

*R6年度の実績は見込み

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト縮減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

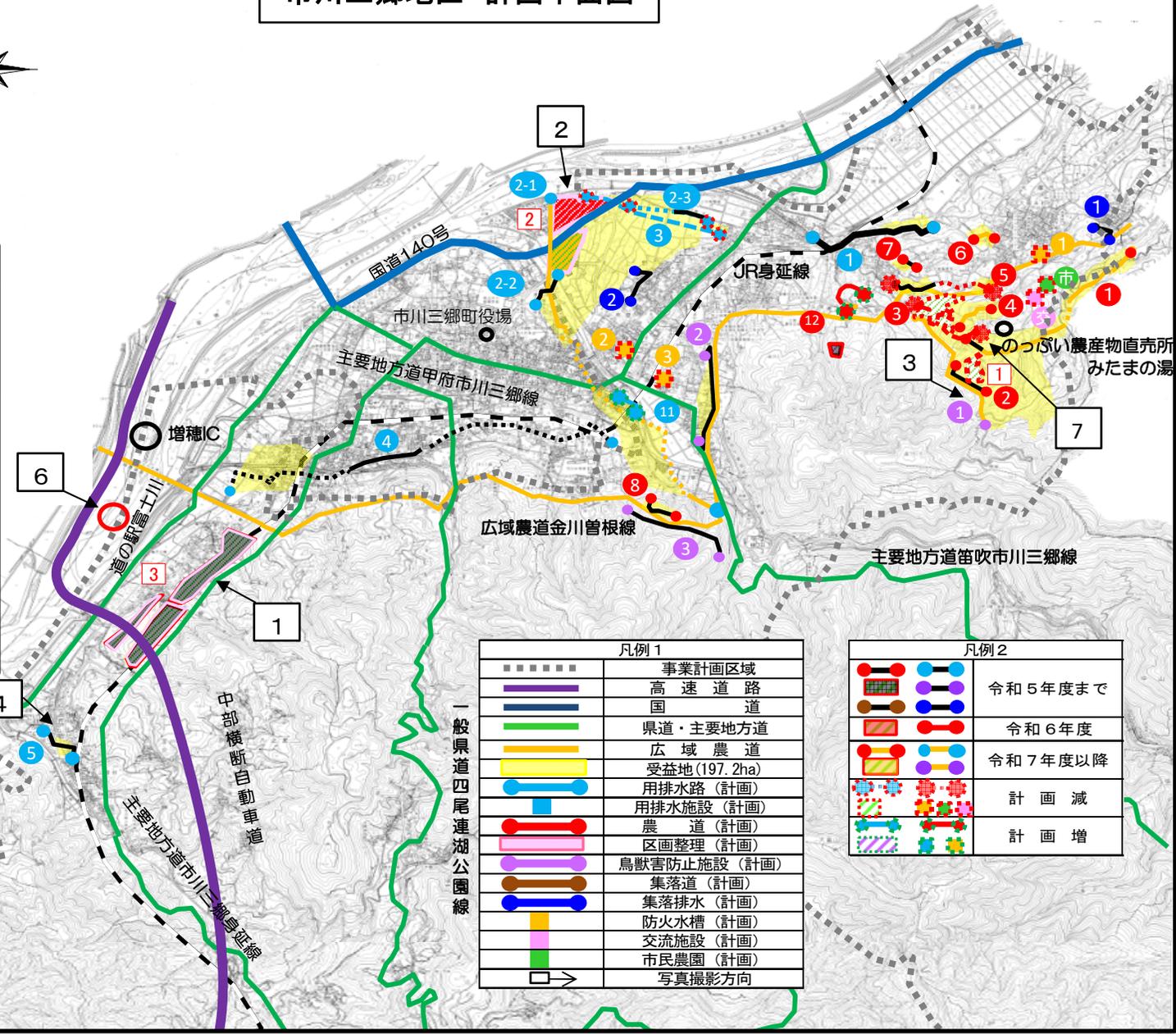
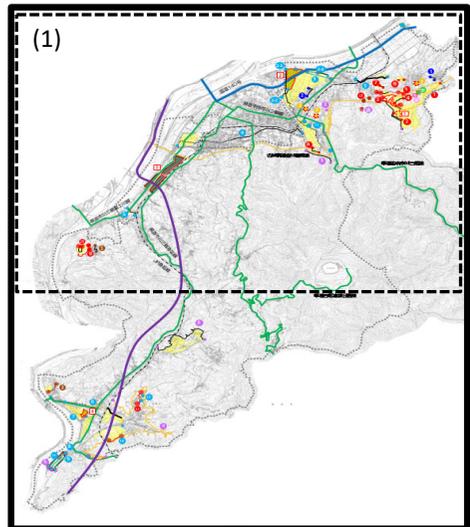
(8) 所管部の今後の方針 継続・(見直し継続)・その他()

(理由)
残された路線については、地域からの整備要望も強く、安定的な用水の確保や農作業の効率化及び農村集落の生活環境の改善に必要な不可欠な整備であることから、事業を継続し、令和10年度の完成を予定している。

3. 添付資料シート (1)



中山間地域整備事業 市川三郷地区 計画平面図



凡例 1

.....	事業計画区域
———	高速道路
———	国道
———	県道・主要地方道
———	広域農道
———	受益地 (197.2ha)
———	用排水路 (計画)
———	用排水施設 (計画)
———	農道 (計画)
———	区画整理 (計画)
———	鳥獣害防止施設 (計画)
———	集落道 (計画)
———	集落排水 (計画)
———	防火水槽 (計画)
———	交流施設 (計画)
———	市民農園 (計画)
———	写真撮影方向

凡例 2

●●●●	令和5年度まで
■	令和6年度
●●●●	令和7年度以降
●●●●	計画減
●●●●	計画増

のっぴい農産物直売所
みたまの湯

一般県道四尾連湖公園線

中部横断自動車道

国道140号

市川三郷町役場

主要地方道甲府市市川三郷線

広域農道金川曾根線

主要地方道笛吹市市川三郷線

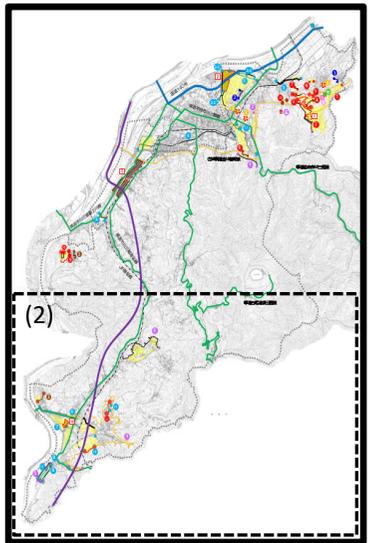
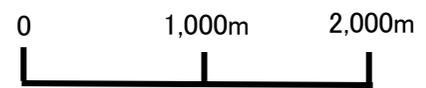
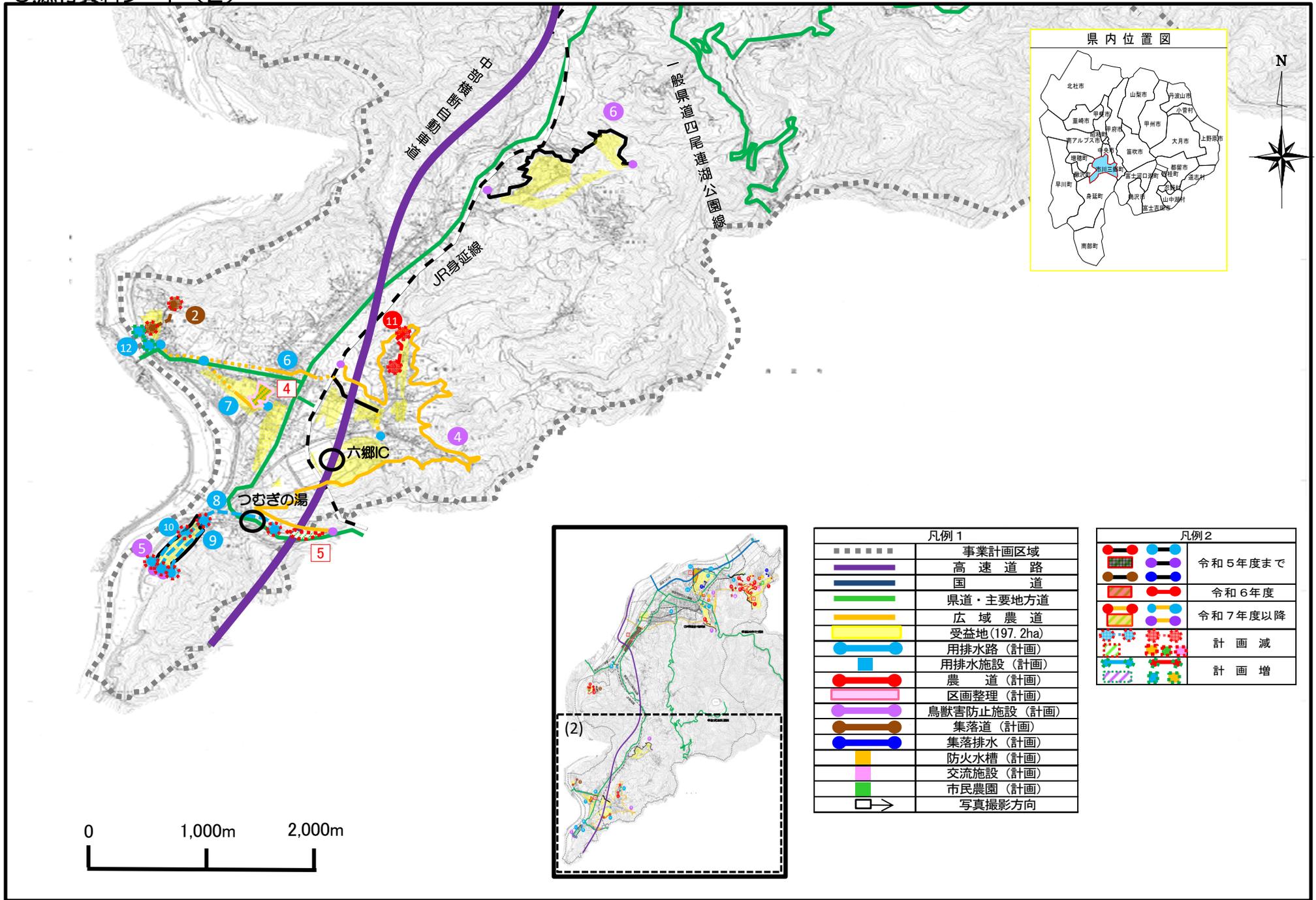
増穂IC

道の駅富士川

一般県道市川三郷富士川線

主要地方道市川三郷身延線

3. 添付資料シート (2)



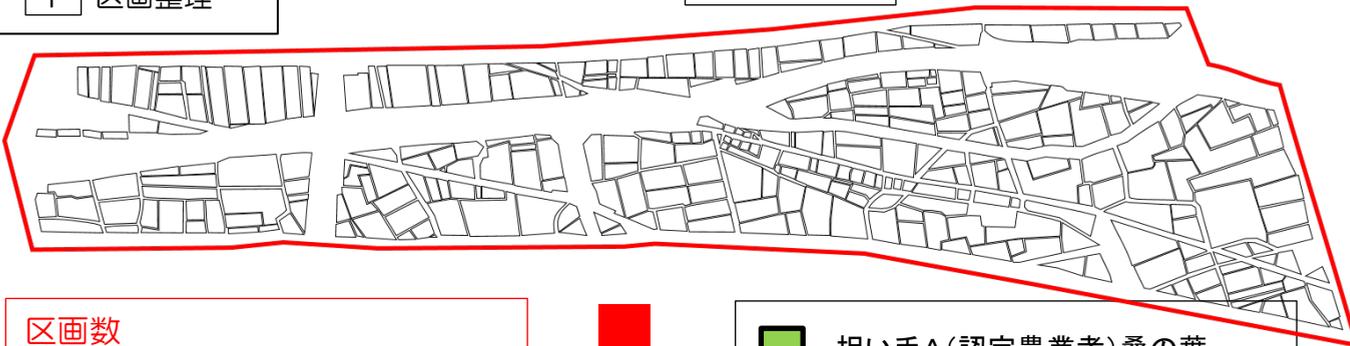
凡例 1	
	事業計画区域
	高速道路
	国道
	県道・主要地方道
	広域農道
	受益地(197.2ha)
	用排水路(計画)
	用排水施設(計画)
	農道(計画)
	区画整理(計画)
	鳥獣害防止施設(計画)
	集落道(計画)
	集落排水(計画)
	防火水槽(計画)
	交流施設(計画)
	市民農園(計画)
	写真撮影方向

凡例 2	
	令和5年度まで
	令和6年度
	令和7年度以降
	計画減
	計画増

3.添付資料シート(3)

1 区画整理

整備前



区画数

274区画 → 50区画

平均区画面積

360m² → 1,895m²



- 担い手A(認定農業者)桑の葉
- 担い手B(認定農業者)
- 担い手C(認定新規就農者)

整備後



整備前



整備後



- 新たな担い手により栽培されている桑。
- 桑の葉を加工し、健康茶として販売。農業生産法人の設立で雇用も生まれ、また耕作放棄地も解消され地域の活性化が図られている。
- 農地中間管理機構を通じて認定農業者や認定新規就農者へ転貸し、農地の集積が図られた。



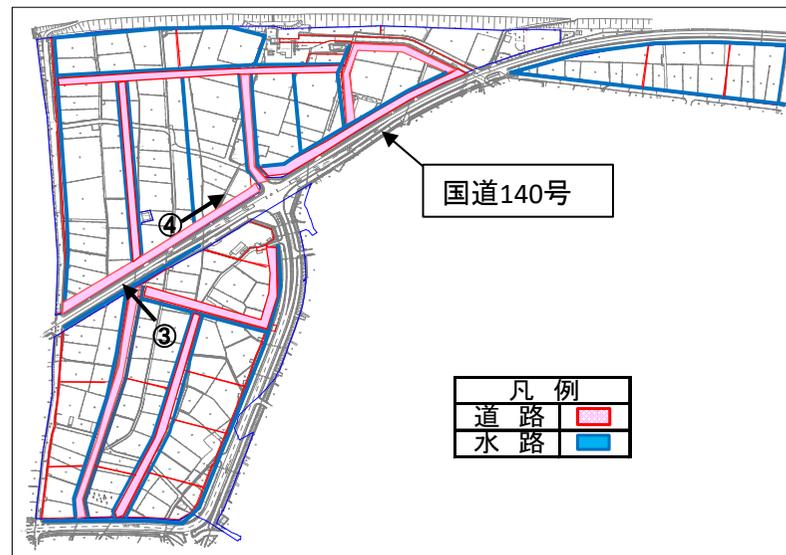
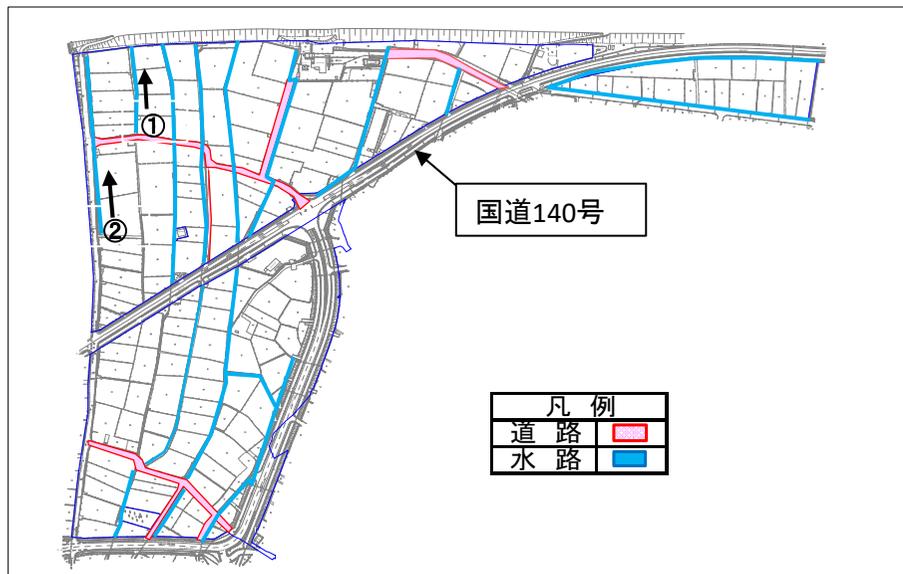
- 不整形な農地を整形することで、営農条件の改善が図られ機械化が進み、生産性が向上した。

3.添付資料シート(4)

2 区画整理

整備前

整備後



整備前 ①既設水路 B200×H300



整備前 ②既設水路 B200×H300



③軟弱地盤



④国道からほ場への安全性の確保



地下水位が高く地盤が軟弱なため道路の路盤を地盤改良する必要が生じ、畑作を行うため高い地下水を効率的に排水するため排水路網を見直した。
国道からほ場への進入を安全かつ容易にするため、農道の路線を見直した。
また、下水道の移設延長が増えたことにより事業費が増加した。

3 農道の整備

整備前



・幅員が狭く車両のすれ違いが困難であり、営農効率が悪く、農作業に支障をきたしていた。



整備後



・農道の整備により、車両の安全なすれ違いが可能となり、農作物の輸送や通作環境が改善し、作業性が向上した。

4 用排水路の整備

整備前



・水路断面が小さく未整備であったため、排水不良や表土の浸食・流出が生じていた。



整備後



・排水路の整備により、表土の流出や排水不良が改善されるとともに、維持管理労力が軽減された。

3.添付資料シート(5)

5 集落道の整備

整備前



- 集落と農地を結ぶ道路は幅員が狭く往来するのに苦慮していた。また、道路側溝がないため、沿線の宅地や農地へ浸水被害が生じていた。



整備後



- 集落道の整備により、集落から農地への連絡が円滑に行える。同時に生活道路が確保され緊急車両の通過も容易になることで、地域住民の生活面や防災面の環境が向上するとともに、農地への浸水が解消され、中山間地域での定住につながっている。

6 道の駅「富士川」



- 市川三郷地区内で栽培された新鮮な野菜や果物が道の駅ふじかわで販売され、それらを求めて県内外からたくさんの方が訪れており、都市住民との交流も促進され、地域の活性化が図られている。

7 収穫体験



- 生産法人等が主ののっぴい農産物直売所の周辺で収穫体験等のイベント等の取り組みにより、県外からの訪れた方をはじめ地域住民も気軽に農作業を体験でき、特色ある農産物のPRにつながっている。

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H26	49,500	設計業務 一式	1.4
H27	124,300	用排水路L=524m	5.0
H28	242,000	用排水路L=1,247m	11.9
H29	258,500	用排水路L=162m、農道L=395m、区画整備A=5.0ha、 農業集落排水路L=85m	19.3
H30	374,000	用排水路L=89m、農道L=98m、区画整備A=7.5ha、 鳥獣害防止施設L=2,054m、農業集落道L=102m	30.1
R1	308,000	用排水路L=137m、農道L=461m、農業集落排水路L=253m	38.9
R2	77,000	用排水路L=640m、農道L=163m、鳥獣害防止施設L=478m	41.1
R3	88,000	鳥獣害防止施設L=1,308m	43.7
R4	154,000	農道L=438m	48.1
R5	165,000	農道L=160m、区画整備A=1.2ha、鳥獣害防止施設L=561m	52.8
R6	286,000	区画整備A=2.0ha	61.0
R7	330,000	用排水路L=660m、農道L=500m、区画整備A=4.3ha	70.5
R8	330,000	農道L=500m、用排水路L=500m、区画整備A=5.3ha、 鳥獣害防止施設L=2,000m	80.0
R9	430,000	農道L=539m、用排水路L=382m、鳥獣害防止施設L=4,003m	92.3
R10	268,700	農道L=500m、鳥獣害防止施設L=1,000m	100.0
合計	3,485,000		